

(参考様式6)

農山漁村振興交付金（農山漁村活性化整備対策）
事業活用活性化計画目標評価報告書

平成30年9月5日作成

活性化計画名	平成25年度 長野県・御代田町面替地区活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
長野県（代表）	200000	1	平成25年度から 平成29年度まで	平成25年度から 平成26年度まで
長野県御代田町	203238			
活性化計画の区域				
面替地区（長野県御代田町）				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率（%） B/A	備考
交流人口の増加	1,322.36%	1,300.95%	98.38%	

（コメント）

従前より面替地区内で住民が主体となり、都市住民を対象とした「通い稲作塾」が開催されていた。稲作塾生と地元住民との交流をベースに、農業体験や田園回帰、移住・定住等に係る農村集落に向けられているニーズを踏まえ、クラインガルテン（滞在型農園施設）を当地域に整備。既存の農業体験参加者である通い稲作塾生とクラインガルテン利用者等の交流人口の増加を図ることができた。

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量			事業実施主体
農林漁業体験施設	滞在型農園施設 ・農園6,600㎡、ラウベ8棟 ・農機具収納施設1棟（16.6㎡）			御代田町
農林漁業体験施設	交流施設1棟（330.5㎡）			御代田町
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
御代田町	平成26年度	平成27年度	平成27年7月1日	
事業の効果				
滞在型農園施設「信州みよたクラインガルテン大星の杜・面替」の整備により、農業体験及び農村交流等を目的とした交流人口の増加が図られた。 また、地元住民と都市住民における農や地域資源を活用した交流が促進され、地域の活性化に貢献する場となった。				

3 総合評価

(コメント)

本事業により整備した御代田町滞在型農園施設「信州みよたクラインガルテン大星の杜・面替」は、限界集落化が懸念される御代田町面替地区において、都市住民との農村交流を促進させ、都市住民等の往来による当該地区への交流人口の創出を図り、もって地域の活性化に資することを目的に整備した。

従前から地元地区有志らが取り組んでいた農村交流における交流人口に、クラインガルテンの利用者等が加わり、本事業実施前と比較して約1,300%の交流人口の増加が図られ、目標値に対し98%の達成率となった。

年々、地元地区とクラインガルテン利用者との農村交流や地区内行事における交流等も自発的かつ活発化し、相互の交流が定着してきていることなどから安定した農村交流の提供が確保されつつある。また、施設利用者の中には、当該地区への移住、定住、二地域居住等を検討する者も現れ、都市住民のニーズに即した地域資源の活用効果が期待できる。

今後も、地元地区との連携を深め、課題や改善点等をセルフチェックしながら更なるサービスの向上に努めるとともに、インターネットやSNS等を活用した積極的な情報発信を継続し、更なる申込待機者の確保に努めたい。

以上のことから、本事業による交流人口の増加と地元住民による農村交流の展開は、限界集落化が懸念される当該地区における地域の活性化に寄与するものであり、クラインガルテン及び交流施設は、今後も都市住民との農村交流を推進する地域の中心的存在となることが期待される。

4 第三者の意見

(コメント)

当該活性化計画に基づき、信州みよたクラインガルテン大星の杜・面替が当地区に整備されたことにより、「農」をテーマとした農村交流を促進する機能が整備拡充され、都市農村交流の充実化と交流人口の増加につながったことは、大いに評価できる。

また、当該活性化計画に掲げる交流人口の増加に係る目標値（増加率）についても達成できており、面替地区を含む御代田町に人々の往来と交流が創出されたことは喜ばしい効果である。

事業実施主体及び面替地区においては、当町他地区に先がけた農村交流のモデル的役割を今後も担い、更なる都市住民との農村交流と地域資源を活用した地域の活性化に向けた取り組みに一層邁進されることを期待する。

〔御代田町農業委員会会長 土屋 學〕